




中学校国語科教育 実技理論研修会 報告

テーマ	「主体的・対話的な学びを目指した授業づくりのヒント」	
日時	令和3年10月4日(月)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	南部 正孝 氏 (肩書:光村図書株式会社 北海道支社 支社長)	
参加者	11名	
研修会 の 様子		南部先生はコロナ禍にも関わらず、今回の講師を引き受けて下さいました。教科書編集のポイントや活用法をわかりやすく映像を交えて解説して頂きました。教科書作成の立場だからこそのお話もあり、参加者は時間の過ぎるのも忘れて、貴重なお話に聞き入っていました。
		まずは、映像を見ながら、教科書編集のポイントを確認しました。そこには情報があふれ、混沌とした現代を「言葉の力」で乗り切りたいという熱い思いが込められており主に、「自らを超えていける人に」「真実を見極められる人に」「新たな価値を生み出す人に」なって欲しいという3つのポイントを再確認することができました。
		後半は、主体的・対話的な学びにつなげるための教科書の活用法について、紹介して頂きました。その中には、私たちが見逃していることも多く、「普段半分も使いこなせていないのではないか」という参加者の声も多く聞かれました。 また、新しい評価への対応についてもご示唆を頂き、わかりやすい資料を交えながら「主体的に学びに取り組む態度をどう評価するのか」など、現場の悩みを解決するたくさんの方のヒントを頂くことができました。
		約1時間30分の時間はあっという間に過ぎました。今子どもたちに身に付けさせたいのは「自らの学習を調整しようとする力」「自らの学習をモニタリング(俯瞰)する力」です。そのためにも、教科書をしっかりと読み込み、子どもたちに伝えたいことを、私たち教師がしっかりと整理していく、という当たり前のことに気付かされた研修会となりました。